

(一社)茨城県建築士会女性委員会

令和6年度 第2回女性委員会

令和6年11月7日(木)PM1:30
茨城県開発公社ビル5階小会議室

会議次第

☆令和6年度 全国女性家建築士連絡協議会 東京大会 報告……要旨集閲覧

☆令和7年度 全国女性家建築士連絡協議会 山形大会 案内……資料1

☆令和6年度および令和7年度 単独事業について……資料2

☆会報誌(アイラル)発行について……資料3

☆今後のセミナー予定について ……資料4

☆会員増強について……資料5

☆年会費について ……資料6

資料1

10 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会 山形大会のご案内

令和7年度 第34回 全国女性建築士連絡協議会（山形） 開催概要

日 時：令和7年7月19日（土）～20日（日）

会 場：山形テルサ（山形県山形市双葉町1丁目2-3）

主 催：公益社団法人 日本建築士会連合会 女性委員会

テーマ 『山形から発信みらいへつなぐ木への挑戦』（仮称）
～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

《主旨》

山形県は東北地方の日本海側に位置し、県土の約7割を占める森林は、日本一の面積を誇るブナ林など美しい景観を構成し、自然災害を防ぎ、多様な生態系を保全し、豊かな林産物を育んできました。蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日といった日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、その雪解け水は県内の各盆地から平野を縦断する「母なる川」最上川へと流れ、日本海に注ぎます。四季折々の風景や豊かな自然、美味しい食べ物など魅力がいっぱいの地域です。

平成25年11月28日 やまがた里山サミット議長 吉村美栄子山形県知事（山形県歴代初の女性知事）は、「やまがた森林モリノミクス宣言」を提唱しました。この宣言は、森林に囲まれた里地・里山地域には、豊かな自然に育まれた「食」、「景観」、「文化」、さらには、「森林」、「農地」など、先人から受け継いだ地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として、「緑の循環システム」を構築し、オール山形で林業の振興を図り、地域の活性化に取り組んでいくことです。

私たち建築士は、県産木材の需要拡大に努め、未来の子どもたちにより良い環境をつなぐために地域と共に森と、木と向き合い挑戦していきましょう！

資料 1

令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会 山形大会（プログラム案）

テーマ 『山形から発信みらいへつなぐ木への挑戦』（仮称） ～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

令和7年7月19日（土）

[全国女性委員長（部会長）会議]	12：00～13：45	山形テルサ
[受付]	13：00～14：00	山形テルサ
[大会]	14：00～17：30	山形テルサ
[交流会]	未定	

令和7年7月20日（日）

[分科会]	9:00~11:00	山形テルサ
[全体会]	11:20~12:10	山形テルサ

会場（山形テルサ）へのアクセス（山形県山形市双葉町1丁目2-3）

○JR山形駅からのアクセス 徒歩約10分



水海道風土博物館 坂野家住宅

みつかいどうふうどはくぶつかん さかのけじょうたく



書院（月波楼）

坂野家は、常総市内を流れる鬼怒川西岸台地の畠地や谷津田の点在する豊かな土地に土着して500年ほどになると言われる。江戸時代中期には幕府直轄地を見廻る役人の逗留場所やその出張所としての役割も担い、農家住宅でありながら薬医門や式台付玄関の設置が特に許された。約1haの敷地には主屋(重文)を中心として西に書院(月波楼)、北に文庫蔵、車小屋、三番蔵、藁小屋を配し、入口に薬医門(重文)がある。市では平成10(1998)年に建物と屋敷地を譲り受け、歴史的建造物と里山の風景を保存する「水海道風土博物館」として整備した。主屋は平成15(2003)年から平成17(2005)年まで、全てを解体し組み直す工法で保存修理を実施し、江戸時代末期(19世紀中頃)の姿に復元された。



主屋全景

見どころ

坂野家住宅は江戸中期に建てられた茅葺の伝統的農家型民家である主屋と、大正期の近代和風建築である「月波楼」と名付けられた書院から構成される。主屋は土間部、居室部、座敷部に分かれ、土間部では柱・梁などの構造、居室部では無双連子の蔀戸、座敷部では武家用として整えられた菊の透影りの欄間を見られる。対する月波楼は文化交流・創作活動のためのサロンとしての伝統を持ち、レトロな手延べガラス戸、巻上式の日除け、白茶のタイルを市松模様に配した風呂場の床など“大正浪漫”な雰囲気に溢れる。風呂場の唐傘天井や板戸の取手、庇の鱗屋根などの細部にまで“こだわり”が感じられる。伝統とモダン～二つの魅力ある和の空間を、ぜひ、ゆっくりと時間をかけて見て頂きたい。



2階南側濡れ縁



巻上式の日除け



2階北側掃き出し窓



2階掃き出し窓と鱗屋根



書院へ通ずる廊下の窓



風呂場

【月波楼】

江戸末期に建てられた初代月波楼は、文人当主のもと、多くの文人墨客が集うサロンとして建てられた。現在の月波楼は二代目で、大正9(1920)年に建てられた近代和風建築の好例である。2階には奥行50cmの月見台のような濡れ縁が設けられ、室内から月(庭園)を眺めるための大きな掃出窓も手すりがあるだけで開放的である。開口部である窓は1・2階とも座敷の南北に配されて風通しもよく、室内から南北両側の庭園を眺めることができる。二間半の床の間や付書院、組子細工の欄間、襖絵に描かれる四君子図(蘭・竹・菊・梅)など和風建築の伝統的要素とガラス戸や風呂場のタイル床など近代性を兼ね備えた佋まいとなっている。座敷に座ると文人墨客たちが集える当時の様子が伺える。



2間半の床の間と付け書院



無双連子の蔀戸と欄間

建物名称 水海道風土博物館 坂野家住宅

建築年 主屋：江戸中期、書院：1920(大正9)年

構造・様式 主屋：木造平屋建・寄棟造(玄関入母屋造)・茅葺
書院：木造二階建・寄棟造・桟瓦葺

所在地 茨城県常総市大生郷町2037

電話 0297-24-2131

HP <http://www.city.joso.lg.jp/shigai/kanko/1420716457308.html>開館時間 (4月～10月) 9時～18時 ※受付17時まで
(11月～3月) 9時～17時 ※受付16時まで

月曜日(祝祭日の際はその翌日)及び年末年始休館

アクセス 水海道駅からタクシー利用、距離9km(駐車場あり)

備考 国指定重要文化財(主屋・表門)、常総市指定文化財(書院)



弘道館は水戸藩第九代藩主徳川斉昭（烈公）により1841(天保12)年に藩士とその子弟の教育のため創設された藩校である。藩校当時の敷地面積は約10.5haを有し、藩校としては全国一の規模で、敷地内には、正庁（学校御殿）・至善堂の他に文館・武館・医学館・天文台・鹿島神社・八卦堂・孔子廟などが建設され、馬場・調練場・矢場・砲術場なども整備された。

現在は、その一部約3.4haの区域が「旧弘道館」として国の特別史跡に指定されている。幾度の戦火を免れた正門・正庁・至善堂は国の重要文化財に指定されている。斉昭は弘道館を創設した翌年に梅林で知られる名園偕楽園を開いている。「一張一弛（いっちょういっし）」という孔子のことばにならい、この弘道館で文武の修業（一張）をし、偕楽園で修業の余暇に心身を休める（一弛）という一对の施設として構想された。弘道館は偕楽園とともに日本遺産にも認定されている。

見どころ

弘道館は幕末の動乱期を経て1872（明治5）年の学制発布により閉鎖されるまで総合教育機関としての役割を担った。明治維新にも大きな影響を与えたと言われる水戸の先人たちの足跡や精神に思いを馳せながら、正庁・至善堂の質実剛健で悠然と往時の姿を今に伝えるその姿を堪能して頂きたい。また、地図を片手に敷地を散策すると、四季折々の美しい花や樹木と共に弘道館の建学精神に沿った独特の工夫を凝らした各施設の配置も楽しむことが出来る。



正庁（国指定重要文化財）



正庁正席の間



至善堂（国指定重要文化財）



至善堂御座の間



特徴的な正庁玄関屋根
独立柱で支えられ、更に吊
鉄物で上方に吊っている柿
葺の下屋根がついている。

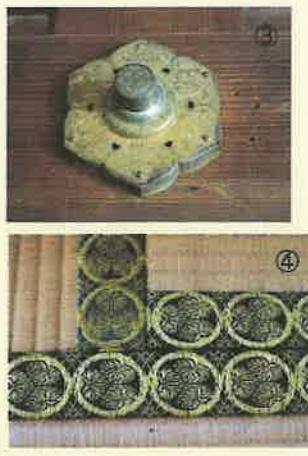


正門（国指定重要文化財）
様式は本瓦葺き四脚門。瓦
には菱の紋が見られ、柱に
1868(明治元)年の弘道館の
戦い時の弾痕が残る。

藩校であるため、意匠に華美な装飾などはないが、ディテールに目を配るのも楽しい。



①正庁破風の懸魚、六葉、鬼瓦。



④

①②③魔除けや火災除けの猪目（ハート状の意匠）が鬼瓦や釘隠し、六葉に見られる。

②③④徳川家の菱の紋が瓦、釘隠し、縁などに入っている。寺社等でも用いられるこの紋縁は茨城県縁職業訓練校（茨城県高萩市）でつくられたものである。

【正庁（せいちゆう）】

学校御殿ともいい、藩主が臨席して試験や諸儀式が行われた。藩主が床の前に座り、正席の間や二の間で行われた学問の試験や対試場で行われた武術の試験をご覧になった。床には付書院も有している。

【至善堂（しそんどう）】

藩主の御座所（休息所）。正庁の奥にあり、御座の間をはじめ4室からなる。御座の間は、斉昭の七男で最後の將軍 徳川慶喜が大政奉還後の約4ヶ月間、厳しい謹慎生活を送った場所でもある。

2011年の東日本大震災によりこの弘道館も甚大な被害を受け、その修復の過程で、正庁正席の間と至善堂御座の間の床が二重床になっていることが新たに確認された。

正庁と至善堂は長廊下（十間畳廊下）によって結ばれており、それぞれ床、棚を備え、面取角柱、長押をまわした書院造である。屋根は、正庁の玄関左右側面を入母屋造とし、正庁の背面と至善堂は寄棟造で、すべて桟瓦葺である。輪違瓦が組み込まれた高さのある大棟も美しい。弘道館の建築は、書院造建築の正統を継ぐものであるが、大柄で簡素な手法は、まさに質実剛健で悠々とした趣があり、風格を感じさせる。

建物名称

弘道館

建築年

1841 (天保12) 年

構造・様式

木造平家建・書院造

所在地

茨城県水戸市三の丸1-6-29

電話

029-231-4725

H P

<https://www.ibarakiguide.jp/kodokan.html>

開館時間

9:00～17:00(2/20～9/30)

アクセス

9:00～16:30(10/1～2/19) 12/29～12/31休館

備考

JR水戸駅北口から徒歩8分 駐車場有

参考

特別史跡、国指定重要文化財、日本遺産

写真：茨城県（弘道館事務所）

荒川家住宅（荒為）

むらかわけじゅうたく（あらため）

茨城県筑西市



旧店蔵北面



主屋南面

荒川家住宅の位置する筑西市下館地区は、下館藩五万石の城下町として成立し、江戸時代半ばより商業で繁栄した地方中心地であった。明治・大正期になると、外来綿や洋糸の販売のほか、足袋底木綿工場が設立され、産業資本が蓄積された。そして、国道50号沿いから金井町を抜ける街道沿いには、蔵造りの商家が立ち並んだ。現在も国道50号を挟んだ荒川家住宅(荒為)の向かいには国登録有形文化財の荒川家住宅(荒七酒店)があり、当時を思わせる。

見どころ

荒川家住宅の一番の魅力は、明治・大正・昭和という時代の職人たちの丁寧な手技が施された落ち着いた空間とともに、美味しい食事を堪能できるというところだろう。土蔵や庭に囲まれた落ち着いた和の外部空間、そして1階座敷、2階客間、奥座敷へと、趣の異なる和室を配した、商家の実用的な空間を体感して頂きたい。

また、土蔵造りに見られる屋根漆喰や軒の意匠、分厚い漆喰塗りの扉、植物がモチーフとしてデザインされた洋間の装飾的な天井や廻縁、ベランダの袖壁（うだつ）などの左官技術も必見である。周辺は、下館における伝統的な町屋建築が集積するエリアである。訪れた際には、商都下館の街並みも散策して頂きたい。



①



②



③



④



⑤

①前面道路からのアプローチ
②店舗入り口③ベランダの袖壁④洋間天井装飾⑤袖蔵の窓のデザイン⑥土蔵の扉

【主屋】

主屋は、木造2階建、寄棟造り、銅板平葺きの建物で、1888（明治21）年に木造平屋建ての住宅を買い取り、肥料・荒物・雑貨などを扱う卸問屋として開業したことに始まる。1892（明治25）年には2階部分を増築し、さらに、大正から昭和にかけて洋間が増築された。通りに面し東側の石積みのアーチをくぐり、狭い路地を抜けて主屋に至る。路地の奥には荷物を運んだトロッコレールが残る。

玄関土間を上ると、低い根太天井の座敷と廊下が続く。座敷には帳場の名残の金庫や囲炉裏がある。2階客間は竿縁天井で、床の間が付いた書院造りである。1階は一般顧客用、2階は上客用としていた。

大正から昭和にかけての増築部である奥座敷は、賓客用として、1階の和室と2階の洋間（アールデコ調）に分かれている。それぞれの客の立場や用向きによって室の格を使い分けしていた。室内外の境には縁側を配し、開口部が設けられ、戸外の景観を望むことが出来るように配慮されており、四季の変化を感じ楽しむ和の空間となっている。また、主屋は和洋折衷の建物として、地域と時代を代表する重要な建物の一つである。



1階 座敷



2階 客間



1階 奥座敷



2階 洋間

【旧店蔵】

旧店蔵は、土蔵造り、切妻造り、土瓦葺きの建物で、1908（明治41）年頃の建物と言われている。1933（昭和8）年に、前面道路の拡張工事により、建物を現在地に曳家し、また、袖蔵として3階建ての洋館を増築した。間口五間、奥行き三間半で、戸締り用の蔀戸も使われていた。

【土蔵】

土蔵は、旧店蔵とほぼ同時期の建物である。内部は間仕切りのない大空間で、三尺ごとに柱がたち、漆喰塗りの真壁が美しい。大空間を活かし、コンサートなども行われている。

建物名称	荒川家住宅（荒為）
建築年	明治時代ほか
構造・様式	木造二階建、土蔵造
所在地	茨城県筑西市田町甲929
電話	0296-21-1357
H P	http://www.city.chikusei.lg.jp/page/page001170.html
開館時間	食の蔵 荒為 [火～日] 11:30～14:30 17:30～22:00 月曜、第1第3火曜休み。ディナーは予約制。 旧店蔵・土蔵の内部の見学は事前連絡が必要
アクセス備考	J R下館駅から徒歩15分 駐車場有 国登録有形文化財

御料理屋kokyu. (旧小西家別邸)

おりょうりやこきゅう (きゆうごにしけべってい)

茨城県結城市

結城市は江戸経済の大動脈である鬼怒川の要衝にあり、結城紬や農産物の流通する一大商業都市であった。小西家は江戸末期に近江から移住し、この地で造り酒屋を始めた。酒造業で財を成し、1926（昭和元）年に別邸としてこの建物を完成させたが、長らく邸宅としての役割を担うことなくひっそりと佇んでいた。



外観（主屋）

見どころ

最大の特徴は、筑波山の景色を楽しむために高床とした主屋だ。高床式（床下はコンクリート造の倉庫）の土台の上に木造建築が建てられ、北を除く三面に廊下が回り、外部の建物の周囲に巡らされた景色を見るための瀧れ縁は回り縁となっており、その回り縁に沿つて一面に張られている表面の波打ちは美しい大正ガラスが建物を特徴付けている。瀧れ縁を支える持送り（もちおくり）にも美しく凝ったデザインが見られる。廊下は約6間の一本物の丸桁、天井は屋根の垂木をそのまま見せる野天井の仕上、障子は引分け猫間障子が使われている。広間天井は竿縁天井、五寸角の四方柾目の柱や、欄間の花を型抜きした透かし模様や格子模様のあしらい、床の間の襖の一枚板など至る所に贅が感じられる。高床式で回り縁になっていることで風通しも良く、日本家屋の良さを感じられる。訪れた際には、時を経て再び産声をあげた建物の歓びを是非とも感じていただきたい。



広間（御食事処）



瀧れ縁を支えている持送り



野天井の回り廊下

後に地元結城市で古民家の料理店を開くために場所を探していたkokyu店主の目にとまり、親戚である大工棟梁が当主と同級生だったことが縁でこの建物を借り受けこととなり、2012（平成24）年7月から8か月間の改修工事を経て、2013（平成25）年3月に地元の新鮮な野菜を使った創作料理の店「御料理屋kokyu.」としてオープンした。

【配置】敷地内には付属の平屋造りの建物と高床式の主屋（店舗）があり、渡り廊下で繋いでいる。駐車場からのアプローチは渡り廊下をくぐり抜けるようになっており、建物内部への期待感が自然と高まる要素となっている。

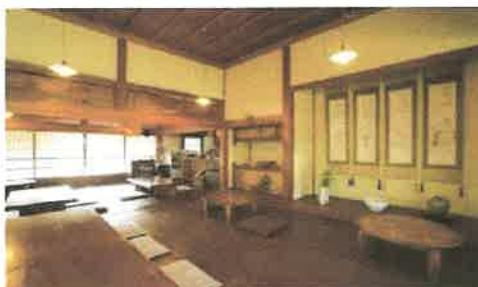


駐車場からのアプローチ



玄関外観（店舗入口）

【主屋】高床式木造平屋建て寄棟造りの建物で、屋根の「鬼瓦」には、ご当主の名前「小西」が刻まれており、柄振り台といわれる鬼瓦を乗せる台には立浪模様が彫られている。内部においては損傷の激しかった漆喰の壁は全て上塗り部分のみ剥がして塗り直し、10帖と12帖の広間の畳敷は板張りに改修した。床の間と床脇の地袋の襖絵は当時のまま残されており、障子も紙を張替え、当時のものを利用している。



床の間と床脇

床の間を中心に店を演出し「和の空間」に添うようななかたちで料理も決められている。

天井の高い二間続きの広々とした空間で、歴史や趣を感じながら美味しい食事を堪能できる。

【付属平屋建物】一部を玄関として改修し、階段を上がった先には新たに和室が設えられ、渡り廊下との間にある組子細工の内窓がさりげなく空間を演出している。渡り廊下へと続く階段の蹴込板は取外しができる仕組となっており、昔ながらの知恵が感じられる。



玄関内観



渡り廊下



組子細工の内窓

建物名称 御料理屋kokyu. (旧小西家別邸)

建築年 1926（昭和元）年

構造・様式 木造平屋建（高床式）

所在地 茨城県結城市大字結城1085

電話番号 0296-48-8388

HP <http://kokyu.in>

営業時間 12:00～14:00、18:00～21:00（昼夜共予約制）

月曜・火曜休み

アクセス JR水戸線 結城駅北口より徒歩約15分

備考 見学は不可

矢中の杜（旧矢中邸）

やなかのもり（きゅうやなかてい）

茨城県つくば市



本館（居住棟玄関前）

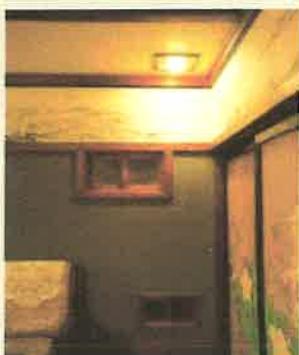
筑波山麓の南、つくば市北条地区に建つ矢中の杜（旧矢中邸）は、矢中龍次郎氏によって1938（昭和13）年から1953（昭和28）年まで、15年をかけて建設された近代和風住宅である。矢中龍次郎氏はセメント防水剤「マノール」をはじめとした建材の研究家であり油脂化工社（現在の株式会社マノール）を創業した実業家である。2008（平成20）年、所有者が移り空き家状態が長く続いた邸宅・庭園をのちにNPOを構成するメンバーも加わり、少しづつ掃除をし地域の文化遺産として、再スタートした。



別館（迎賓棟外観）

見どころ

矢中の杜の大きな特徴は、日本の風土を考えて作り上げた実験住宅でもあることだ。矢中氏が考える「建築とはどうあるべきか」という問い合わせを具体的かつ実験的に示している。特に換気についての工夫は邸宅の保存にかかせない性能を発揮している。邸宅内の各所に自然の循環による換気がなされるように設計されている。建具の足元の無双窓や、照明器具周りの排気口などは設計段階から計画されていた。



換気対策小窓



二間続きの応接間

照明器具周りの排気口

【本館（居住棟）】

本館は木造平屋建で一部に大谷石造の地下室がある。特徴的な陸屋根や山吹色の外壁のほか随所に設けられた通気口、部屋ごとに異なる建具、建築当時のまま残る調度品や設備など多様な魅力に満ちている。



大谷石造の地下室の通気口



陸屋根



書斎



座敷

【別館（迎賓棟）】

別館の構造は一階は鉄筋コンクリート造、二階は木造になっている。内部は豪華絢爛で格式高い意匠が随所に見られる。ずらりと並んだ色鮮やかな板戸絵、サクラやケヤキ、スギなどの見事な銘木。天井高の高い空間作り、特注の調度品など見所に尽きない。



和洋折衷様式の豪華絢爛な食堂



床の間のある応接間

建物名称

矢中の杜（旧矢中邸）

建築年

1938（昭和13）年～1953（昭和28）年

構造・様式

本館：木造平屋+大谷石造

所在地

別館：鉄筋コンクリート造+木造

電 話

茨城県つくば市北条94-1

H P

090-6303-4531 (NPO法人“矢中の杜”の守り人)

開館時間

<https://www.yanakanomori.org/>

ア クセス

毎週土曜日（11:00～16:00 最終入場15:30）

備 考

常磐道土浦北ICから国道125号線経由で約12km

国登録有形文化財



五層窓



ケヤキの廊下

春風萬里荘（北大路魯山人旧宅）

茨城県笠間市

しゅんふうばんりそう（きたおおしるさんじんきゅうたく）



（写真 庭園より西面を望む）

県中央部に位置する笠間市の中で、春風萬里荘のある旧笠間地区は周りを小高い山々に囲まれた盆地にあり、焼き物の産地として名高い所でもある。昭和40（1965）年に日動画廊の創設者である長谷川仁氏が、郷里である笠間に作家らと訪れた折、この地にアトリエを造りたいという要望を受け、「芸術の村」の構想が生まれた。同年の暮には北大路魯山人が住居としていた民家を北鎌倉より移築し、その中心に据え置き、「春風萬里荘」と名付け、翌年「芸術の村」が発足した。この民家は高座郡御所見村（厚木市近郊）の大庄屋の母屋を、昭和6（1931）年に魯山人が星岡窯の母屋として北鎌倉に移築したもので、昭和18（1943）年まで住居として使用していた。建物内部は魯山人の手による改造が随所に見られ、それらがほぼそのままに残されている。母屋の茅葺き屋根は適時葺き替えがされており、近年では平成19（2007）年より数年をかけ全面的な工事がなされた。また平成30（2018）年からは庭園改修工事が行われ、令和2（2020）年10月に完成している。

笠間日動美術館が昭和47（1972）年に開館され、春風萬里荘はその分館として現在も美術愛好家及び多くの人々が訪れる場所となっている。

見どころ

大庄屋の建物らしい重厚さに、「万能の異才」とうたわれ、万事に凝り性であった魯山人の美意識が加味され、時代をまたいでより一層懐の深い建物となっている春風萬里荘は、美術館として所蔵する名品の展示とともに訪れる者を飽きさせない。特に母屋土間左手の本来馬屋であった洋間は魯山人により改造されており、馬屋であった頃の馬をつないでいた柱や排気孔がそのままの姿で残され、自然物の生かし方や空間構成、遊び心など、魯山人の自由な感性・美意識を見てとることができる。また、風呂場は脱衣所を含め10畳間程の大きさで、長州風呂と上がり湯、洗い場がゆったりとした広さの中に配され、壁には魯山人自作の青竹を模した織部陶板がめぐらされ、豊かな色彩をなす。更には季節の花に彩られた心癒される庭園も見事であり、散策した先には地元の豪農から移築された江戸期の長屋門がどっしりと佇み、ここでは庭園を望みながらのランチも楽しめる。また、年に2回、右で紹介している魯山人設計 茶室「夢境庵」での茶会の開催もあり、鑑賞にとどまらず、贅沢な時間を体感出来る。



【主屋】

茅葺き入母屋造りの重厚な構えのこの建物は、江戸時代天保年間に大庄屋伊東家の母屋として建てられた。式台のある玄関を入ると正面には12畳半の玄関間があり、その右手並びに仏間・客間の座敷が続く。客間は違い棚付きの2間の床の間に付け書院、組子欄間、さお縁天井など格式ある座敷となっている。玄関間の奥は神棚のある板間で、往時は団炉裏があり魯山人はこの板間と続く6畳を居間として使用していた。三和土の土間は梁表しで、煤竹の天井が繊細に組まれており、吹抜の開放的な空間となっている。



【茶室】

「夢境庵」は千宗旦（千利休の孫）によってつくられた名茶室「又隠」を手本として、魯山人が設計した。北鎌倉に在った時は、母屋とは離れた茅葺き入母屋造りの独立した茶室で、魯山人の安息の場であった。移築する際に母屋（座敷奥）に付設され、現在はむくりを付けた桟瓦葺きに杉皮葺きの下屋根が廻る姿となっている。3畳の水屋、洞庫口を備えた4畳半本勝手からなり、床柱には黒柿の自然木、無目には南天の樹が用いられている。また躊躇口に加え、貴人口が設けられ、出入りを容易にしている。



魯山人により馬屋を改造した洋間



洋間 魯山人作 手斧削りのベンチ 檜の小口を見せた木レンガの床



魯山人作の織部陶板を張り込んだ長州風呂



魯山人作 陶製アサガオ



江戸期 豪農の長屋門



長屋門 の重厚な軒廻り

建 物 名 称	春風萬里荘（北大路魯山人旧宅）
建 築 年	天保年間、1965（昭和40）年北鎌倉より移築
構 造・様 式	木造平屋建 茅葺き入母屋造
所 在 地	茨城県笠間市下市毛1371-1
電 話	0296-72-0958
H P	http://www.nichido-museum.or.jp/shunpu/
開 館 時 間	3月～11月 9:30～17:00 入館は16:30まで 12月～2月 10:00～16:00 入館は15:30まで 月曜日（祝祭日の時はその翌日）・年末年始 休館
ア ク セ ス	JR常磐線友部駅よりタクシー約15分（駐車場有） 水戸線笠間駅から徒歩約20分（タクシーが便利）
備 考	笠間日動美術館分館（展示施設）

穂積家住宅

ほづみけじゅうたく

茨城県高萩市



見どころ

主屋の梁組・小屋組みのほとんどが建築当初材である。桁行・梁間に架け渡した鋸歓り（ちょうなはつり）仕上げの松材の迫力ある小屋組みが見られる。今でも月に一度、半日をかけて燻蒸を行っている。軒付は茅を数段に積み重ね、中に竹の節裏を白く塗った飾りを揃えて巡らし、各隅は市松模様の装飾を施した『五段茅葺き中竹節櫛角市松模様寄棟造り』になっている。



小屋組み



市松模様寄棟造り

建具の製作年は不明だが、欄間・格子組・帯棊・引手等の装飾が素晴らしい、細部にまでこだわりが見られる。



簀戸（葦戸）



欄間



平書院



便所間仕切りの装飾



襖絵



千鳥の引手

穂積家は江戸時代中期に庄屋を務め、農業のほか造林地業・金融業・酒造業などを営み、明治初期には製紙工場を経営するなど多角経営を行っていた上層階級の農家である。敷地面積は5492.82m²、周囲を堀で囲み、中心に主屋、北側に衣装蔵、東側に庭園、南側に長屋門と前蔵を配している。現在は無料公開のほか期間限定古民家カフェや映画・テレビのロケ地として利用されている。1989（平成元）年、茨城県指定有形文化財に指定された。



【長屋門】2階造りの門の東側に桁行3間、西側に桁行5間の平屋を接続させた特異な形式で、屋根は門の部分を入母屋造、左右の平屋部分を切妻造とし、桟瓦を葺く。昭和初期の改修でもともと平屋根だったものに2階部をのせるなど、数回の改築が行われている。

【前蔵】嘉永2（1849）年に建築された切妻造、妻入、2階建ての土蔵。桁行4間、梁間3間で屋根は漆喰を塗り固めた上に合掌を置き、桟瓦葺の屋根をのせる置屋根形式となっている。美しいなまこ壁が時代的な特徴をよく表している。



【主屋】安永2年（1773年）建設。約120坪の広さがあり、屋根は寄棟茅葺き、南突出部は入母屋造りの茅葺き、背面下屋銅板葺き。北東面にあるオクザシキの北側には床の間・床脇・平書院が付き、かなり早い段階で床飾りを配した座敷を持っていた。



【衣装蔵】大正4年（1915年）に造られた切妻造の土蔵。昭和の改修により主屋から渡り廊下が設けられ、内蔵となった。桁行3間半、梁間2間半の2階建てで、1階に衣装棚、2階に床・違い棚を設けた10畳間があり、衣装替えのほか接客の場としても使われていた。



【庭園】江戸時代に作られたもので、屋敷の北を流れている関根川から水を引いた約100坪の水面を持つ回遊式庭園。中央には石造りの太鼓橋、石灯籠を配している。



建物名称	穂積家住宅
建築年	1773（安永2）年
構造・様式	木造平屋建・入母屋造・寄棟造・茅葺き
所在地	茨城県高萩市上手綱2337-1
電話	0293-24-0919
HP	http://www.takahagi-kanko.jp/page/page000008.html
開館時間	9:00～16:00 月曜日（祝祭日の時はその翌日）・年末年始休館
アクセス備考	常磐自動車道高萩ICから車で約1分 駐車場有 茨城県指定有形文化財、高萩市指定史跡

かさま歴史交流館井筒屋

かさまれきしこうりゆうかんいつづや

茨城県笠間市

笠間市の観光の中心である笠間稻荷神社周辺には、初詣や春の陶炎祭、秋の菊まつりなど年間を通して多くの観光客が訪れる。近年、市では笠間稻荷神社の南側に位置する笠間稻荷門前通りの景観整備を進めている。その門前通りを見通せる場所に建つ「かさま歴史交流館井筒屋」は、平成30（2018）年4月1日にオープンした市の公共施設で、明治中期頃に建てられた木造3階建て瓦葺入母屋造り、三層に庇の取り付いた歴史ある建物「旧井筒屋本館」を改修整備して誕生した。



様々なイベントが催される建物前の交流広場



写真① 昭和初期の外観



写真②改修整備される前の外観

井筒屋は、江戸時代天保年間に旅館として創業。明治中期頃に、今の場所に木造3階建ての井筒屋旅館が建てられた。建築当初に2階と3階の客室の外側にあった欄干（写真①参照）は、昭和期の改修工事で取り壊され、客室の拡張が行なわれた。東日本大震災で被災した建物を、笠間市が引き受け、地域活性を促進する施設へと今回の改修整備工事が行われた。

複数棟あった建物のうち、木造3階建て1棟を残し約15mの曳家が行われ、広い交流広場が設けられた。建物の1階には観光インフォメーション、2階に歴史展示コーナー、3階には地域の人が利用できる会議室が設けられ、笠間の歴史や観光情報の発信、市民や観光客の交流の場となっている。



写真③ 工事中の曳家の様子

外観は、縁廊下および透かし入りの欄干が復元され、縁廊下越しには障子窓が設けられ、建築当初の趣を感じる。旅館の敷石を再利用した中露地、当初材のケヤキ柱や天井梁組が現しとなった1階の観光インフォメーションや2階の吹抜けは往時の雰囲気を作り出している。意匠に配慮し綿密に計画された構造補強、新規材に施された古色塗装、床左官仕上げは当初材と馴染み、井筒屋旅館の当時の面影を感じさせる。



①交流広場の稻田石。
②中露地の再利用された
稻田石。
③当時旅館で使われていた
金庫と神棚。
④曳家工事リノベーション
をした際に3階の屋根裏
で発見された亀の絵が描
かれた破魔矢。

江戸時代、稻荷信仰が江戸を中心に広がり、笠間稻荷神社へ多くの参拝客が関東一円から泊りがけで訪れるようになつた。そして、井筒屋のような旅館が多くある門前町としても栄えるようになった。



〈笠間稻荷神社〉
日本三大稻荷
のひとつ。



笠間市笠間
1番地



1階平面図



1階 観光インフォメーション



2階 梁組が現しとなった吹抜け



3階 和の意匠の会議室

建物名称	かさま歴史交流館井筒屋
建築年	明治中期頃
構造・様式	木造三階建 瓦葺入母屋造
所在地	茨城県笠間市笠間987
電話	0296-71-8118
H P	www.kasamaidutsuya.com
開館時間	9:00~21:00、月曜日(祝祭日の時はその翌日)休館
アクセス	JR水戸線笠間駅から徒歩20分
備考	

旧小泉邸 リノベーション見学会の お知らせ

7/25

木

時間

9:00~16:00

会場

小泉邸（大和田846）

はじめまして。

Hostel Inn株式会社の西山と
かすみがうら市地域おこし協力隊の平川です。

この度私たちは、旧小泉邸を宿泊施設に変えるプロジェクトを開始いたしました。

現在、敷地内にある別邸を筑波大学の学生のみなさんと一緒に改修を行っています。

7月25日に筑波大学のみなさんとリノベーションワークショップを行います。

ぜひお時間がある方は、作業風景等を見に来ていただければうれしいです。

※当日は、本プロジェクトがはじまったきっかけや内容をまとめた資料も用意しています。

お問合せ(西山):
090-6138-6489



資料2-3

VANについて

組織
株式会社 Voluntary Architects' Network
住所
〒136-0043 東京都世田谷区松原
5-2-4
TEL: +81-3-3324-6670
発立
1995年設立、2013年特定非営利活動法人
認定

Shigeru Ban Architects

避難所用・紙の間仕切りシステム Paper Partition System

2023年9月2日に多摩区スポーツセンターにてあらいの避難所プロジェクトが行われました。



避難所用・紙の間仕切りシステム

Paper Partition System

2019年10月13日に大分市立庄尻小学校にて紙管ワークショップが行われました。

主催：大分県建築士会大分支部



【女性委員会の部】 令和 6 年度 事業計画および予算書

事業計画	収入	支出	収支差額	算定基礎	予算額
女性委員会 単独事業 (見学会or講演会 or体験学習)	50,000	50,000	0	収入 @ 2,000円 × 25人 = 50,000 支出 1. 会場費・材料代等 20,000 2. 講師・資料作成・諸経費 30,000 3. お茶・懇親会費等 0	50,000 50,000
セミナー事業	40,000	450,000	△ 410,000	収入 @ 1,000円×40名= 40,000 支出 1. ラフアーケセミナー 県北・県央 5回 会場・資料・講師料・諸経費 175,000 2. わくわくセミナー 県西・県南 10回 会場・資料・講師料・諸経費 275,000	40,000 175,000 275,000
全国女性建築士 7/14(日)、15(月) 東京	0	100,000	△ 100,000	収入 支出 1. 参加費 @5,000円×10人 50,000 2. 交通費等補助 @2,000×10人 20,000 3. 発表者等旅費交通費補助 @5,000×2人 10,000	0 ※東京大会 0 10,000
関プロ女性協議会	0	0	0	4. 関プロ女性協議会補助 20,000	100,000
会報発行 ILAL :年 1 回	0	10,000	△ 10,000	収入 支出 1. 取材・印刷・通信費 10,000	0 10,000
会員増強推進費 (女性委員会リーフ レット作成)	0	0	0	収入 支出 1. 版作成 0 2. 印刷費 5,000部 0	0 0
雜費		0	0	支出 1. 通信・取材費 0 2. 雜費 0	0 0
合計	90,000	610,000	△ 520,000	収支差額	△ 520,000

前年度合計	90,000	1,057,000	△ 967,000	※前年度比 (前)967,000 - 520,000 = 447,000 予算減
-------	--------	-----------	-----------	---

資料3

I LAL ネットワーク

第81号 2024年5月号



女子力で、
建築業界に、
新しい価値を創りだしていきましょう！！

-目次-

- * 第65回建築士会全国大会「しづおか大会」報告
- * 令和5年度セミナー報告：わくわく＆ラブアークセミナー
- * 令和5年度 各支部の活動報告
- * 令和6年度女性委員会セミナ一年間スケジュール
- * 女性委員会報告
- * 編集後記



(一社) 茨城県建築士会女性委員会

樹木医って何？

— 樹木医の利用と樹木を扱う基本について —



二階堂太郎「植物園で樹に登る—育成管理人の生きもの日記」、筑波実験植物園

樹木医さんってどんな仕事をしているの？

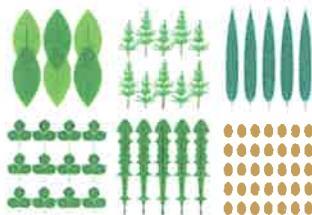
筑波実験植物園の屋外・圃場班リーダーで樹木医の二階堂氏にお話を伺います。

常陽藝文の2022年10月号から1年間「植物栽培の現場から～伝えたい草木と人のつながり～」という連載をされていました。行方市の鹿行生涯学習センターの県民大学では「剪定術を学ぼう」という講座で私たちに樹木への理解を深めてくださいました。幅広く活動されています。

樹木医さんの仕事を学び、人と樹木の関係について考えてみませんか？

- ◇ 日時： 令和6年 11月 21日 (木) 19:00 ~ 21:00
- ◇ 会場： 土浦三中公民館 1階 学習室2 (土浦市中村南 4-8-14 / 029-843-1233)
- ◇ 講師： 二階堂 太郎氏

国立科学博物館 筑波実験植物園
樹木医 学芸員
- ◇ 会費： 無料 (会員外：¥1000/人) 飲み物付き



※参加申込みは、下記へFAX又はメールにて、11月14日(木)までにお願いいたします。

申込先 (一社) 茨城県建築士会事務局 (Tel 029-305-0329)
FAX: 029-305-0330 E-mail : kyy05413@nifty.com

11月21日(木) わくわくセミナーに 参加 します

支部名 _____ お名前 _____ CPD 登録 _____ 有・無 _____

当日の連絡先(携帯番号) _____

★キャンセルをされる場合は事前に御連絡をお願いいたします。

2024年12月ラブアークセミナーのお知らせ



主催：一社)茨城県建築士会女性委員会
委員長 大谷 美由紀
担当 石井 小貫

『教えてもらおう！！剪定体験』

あなたの、ご自宅に「木」はありますか？ 剪定していますか？
剪定には、枝を切ってよい季節と切ってはいけない季節があるのは知っていますか！
カットしてもよい枝、避けた方がよい枝。雑草の処理の仕方など。
お庭の？（はてな）を剪定のプロに聞いてみましょう！
先生は、1988年創業の、有限会社鈴木緑化サービスの社長さんです。
当日は動きやすい服装でいらしてください。みんなの、参加をお待ちしております。

記

案内図



- 1、日時：令和6年12月7日（土）
午前 10:00～午後 12:00
- 2、会場：水戸市内施設の庭園
水戸市住吉町 302-1 ※駐車場有
※詳細は申し込み者へお送りします。
- 3、講師：有限会社 鈴木緑化サービス
代表取締役 鈴木 重文 氏
- 4、会費： 会員 無料（一般：500円）
- 5、人数： 15名
※作業のできる服装でご参加ください。

◆参加申込みは、下記へFAX 又は メールにて **12月3日（火）迄**にお願いします。

申込先：(一社)茨城県建築士会 事務局 (TEL 029-305-0329 ※土日休み)

FAX: 029-305-0330 E-mail: kyy05413@nifty.com

令和6年12月7日（土）『教えてもらおう！！剪定体験』に 参加 します。

支部名	お名前	(携帯) 当日の連絡先	<input type="checkbox"/> を付けて下さい
			士会会員・一般
			士会会員・一般

・事前質疑受付（聞いてみたい事をぜひご記入ください）

※キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いいたします。

令和6年度 女性委員会セミナー年間スケジュール				
月	***わくわくセミナー***		***ラブアートセミナー***	
	テーマ	担当者	テーマ	担当者
4	茨城県地域の水事情と住環境 終了	池田 恵子		
5	モンゴル体験・ゲル見学会 終了	小林 明江 赤木 裕子	水府古民家見学会 終了	平沼 淳美 齋田 久恵 近藤あすか
6	スマートハウスについて 終了	池田由紀代		
7	令和6年度 第33回全国女性建築士連絡協議会（東京）			
7	ZEBについて 終了	江ヶ崎雅代	インテリアについて 終了	浜中 本子 浅子 明美
8	休み			
9	ChatGPTを使った建築イメージ図 終了	赤木香菜子	改正相続法について (空き家問題) 終了	金子 雅代 藤根 琴子 飛田 直身
10	ガレージハウスについて 終了	橋本 珠美		
11	樹木医の話 11/21予定	眞鍋 道子		
12			外構プランニングについて 12/7予定	石井 裕子 小貫 弘巳
1	わくわくセミナー 企画会＆新年会	川浪せつ子	ラブアートセミナー 企画会＆新年会	柳下 文江 石黒 洋子
2	構造の話し	西原有希子	養蜂について知ろう 2/16予定	大谷美由紀 桑原 文子

[女性委員会からのお知らせ]

★新型コロナウイルスの状況により、セミナーが中止又は延期になる場合があります。

★セミナーの内容、開催月は変更になることがありますのでご了承ください。

★各セミナーのお知らせは、毎月の建築士会の発送物に同封されます。

また、建築士会のホームページなどでもご覧になれます。

★事務局：(一社)茨城県建築士会 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階

E-mail : kyy05413@nifty.com

TEL : 029-305-0329 FAX : 029-305-0330



お気軽にご参加くださいね♪

D分科会プログラム

■テーマ 「変えていく！建築士会」～バージョンアップへの道～

■分科会の趣旨

建築士会を取り巻く環境が変わり、バージョンアップをしていく必要性を感じている方は多いのではないかでしょうか。会員数の減少、年齢構成の変化、建築を取り巻く様々な環境の変化などに対応していくためには、これまでの経緯を理解しつつ、過去にとらわれ過ぎることなく、先を見据えた改革をしていかなければなりません。

昨年実施した「会員拡大に向けてのアンケート」の結果（連合会女性委員会HP参照）には、現状の課題、そして今後を考えていく上でのヒントがたくさん潜んでいるのではないかと思います。それらをもう少し深く掘り下げるとともに、取り組みの事例として、愛知建築士会の会員拡大の取り組みについてお話をいただきます。学生を対象とした特別準会員制度やファミリー会員制度の創設に至った経緯や、動き始めた学生会員との協働の取り組みについてもお聞きしたいと思います。参加型のワークショップも織り交ぜながら、私たちの建築士会について語り合い、この先の可能性を探る機会としたいと思います。

■司 会 矢尾 志津江（石川県建築士会） アシスタント 坂上 ゆかり（石川県建築士会）

■コメンテーター 杉原 尚子、丹羽 哲矢（愛知建築士会）

公益社団法人愛知建築士会の会員制度について、会員増大推進特別委員会の2022年度からの取り組みについて、その後立ち上がった青年委員会学生部会の活動などお話しさせていただきます。

杉原尚子(常務理事, 会員増大推進特別委員会担当役員, 女性委員会)

丹羽哲矢(常務理事, 会員増大推進特別委員会担当役員, 学生コンペ委員会) 静岡文化芸術大学教員

■分科会の進め方

1. 司会挨拶、コメンテーター紹介／進行説明	(5分)	9:00～9:05
2. 会員拡大の取り組みについて事例報告（愛知建築士会）	(30分)	9:05～9:35
3. 質疑応答、意見交換	(20分)	9:35～9:55
4. ミニワークショップ		
・グループ討議	(30分)	10:00～10:30
・プレゼンテーション	(20分)	10:30～10:50

テーマ①『建築士会をアピール！』1分間コマーシャルorキャッチコピーをつくろう！

テーマ②『予算5万円！ 魅力ある事業を提案』

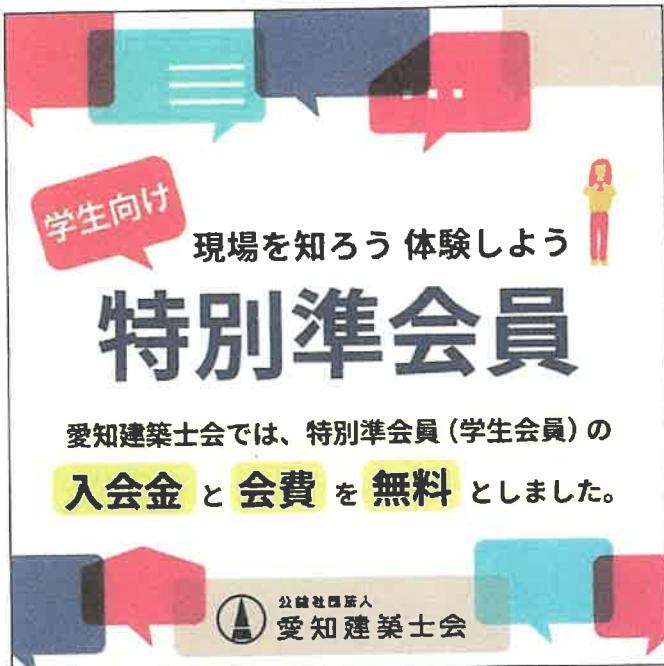
テーマ③ ワンテーマディスカッション

バージョンアップのために必要なもの。そのためにはどうすれば良いか。

5. 全体まとめ	(10分)	10:50～11:00
----------	-------	-------------

特別準会員(学生会員)の入会金・会費無料、 ファミリー会員対象拡大について

—愛知建築士会—



入会金は1,000円
年会費は3,600円 を無料に

↑会誌配布をPDF版に
変更して費用削減

約20年続けてきた学生コンペで培った
教員との人脈を使って周知活動を行う

新たに学生部会を立ち上げ企画立案
事務手続きは正会員がフォローする

ファミリー会員の対象を同居の親族から同じ所属の正会員がいる40歳未満に拡大



愛知建築士会では、若い世代の建築士の入会を促進するため、ファミリー会員の対象を拡大しました。

これまで、ファミリー会員は正会員(終身正会員を除く)と同居する親族だけに限られていました。
今回、正会員(終身正会員を除く)の所属する会社・事務所に属する40歳未満の建築士が、新たにファミリー会員として入会できることになりました。
愛知建築士会には設計事務所やハウスメーカーで働く人や、現場監督、大工、行政職員、教員等の幅広い職種の人々がいます。
この機会に多くの建築士と出会い仲間になって、将来のことを一緒に考え、スキルアップしてみませんか。

入会金 1,000円 (正会員は3,600円)

年会費 9,000円 (正会員は18,000円)

※会報誌は送付しません。その他、会員種別に関する詳細はホームページでご確認ください。

入会申込は
こちらから



ホームページは
こちらから



会員の種別で提供するサービスに差をつけている

令和6年5月21日

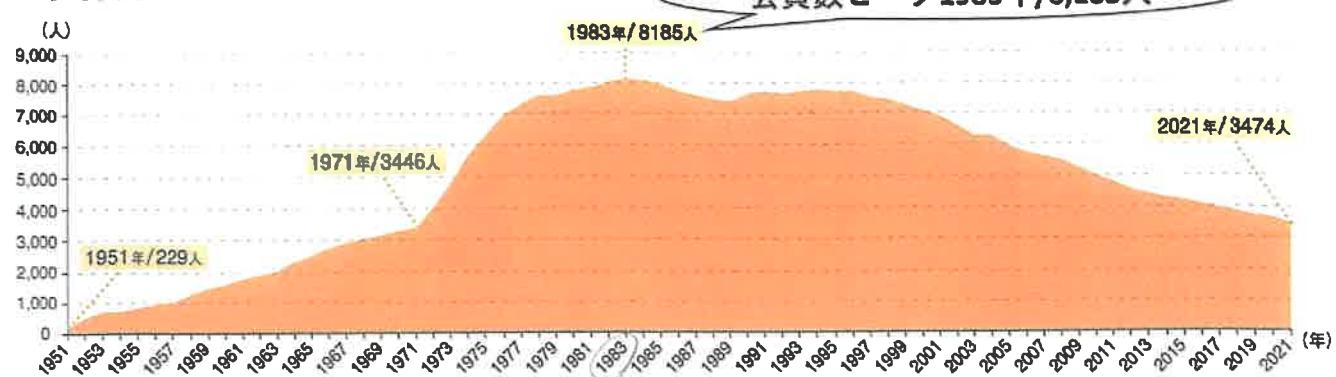
※2023年の修正部分は、_____線部分となります。

	正会員				準会員		賛助会員	
	正会員	ゴールド会員	終身正会員	ファミリー会員	準会員	特別準会員	団体	一般会員
入会費	¥4,000			¥1,000	¥3,000	¥0	<u>斜線</u>	
年会費	¥18,000		無料	¥9,000	¥14,400	¥0	¥30,000	¥9,000
	建築士	70歳以上	40年在籍 70歳以上 功績者	建築士 正会員と同居する親族 又は正会員が所属する 会社・事務所の40歳未 満の建築士	将来建築士を目指す方		団体	個人 建築士以外 行政職員
申込方法				Googleフォーム	試験合格者 社会人	建築に興味がある 学生		
総会出席	○	○	○	○				
役員立候補	○	○	○	○				
委員会参加	○	○	○	○	○	○	○	○
委員長就任	○	○	○	○				
支部参加	○	○	○	○	○	○	○	○
支部長就任	○	○	○	○				
会員証	○	○	○	○	○	×	○	○
会誌「建築士」の受取り	○	○	○		○		○	
会誌「愛知の建築」の受取り	○	○	○		○	×	○	○
講習会の情報提供・会員割引	○	○	○	○	○	○	○	○
レジャー施設への優待	○	○	○	○	○	×	○	○
一部美術館・博物館への優待	○	○	○	○	○	×	○	○
日本旅行の利用優待	○	○	○	○	○	×	○	○
一柳葬具利用優待	○	○	○	○	○	×	○	○
書籍の郵送販売	○	○	○	○	○	×	○	○
法律相談の利用	○	○	○	○				
WEB「会員専用サイト」の利用	○	○	○	○	○	○		
WEB「賛助会員ニュース」掲載							無料	無料
WEB「バナー広告」掲載							会員価格	会員価格
建築士定期講習受講								
既存住宅状調査技術者講習受講	定価	定価	定価	定価	定価	定価	定価	
監理技術者講習受講								
ヘルテージマネージャー養成講座受講	定価	定価	定価	定価	定価	定価	定価	
メールマガジンの受取り	○	○	○	○	○	○	○	○
Twitterによる情報発信	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料
Instagramによる会員作品の発信	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料
広告掲載(会誌・メルマガ)	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格
建築総合展出席	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格
会議室の利用	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格	会員価格
講師派遣		講師					講師	

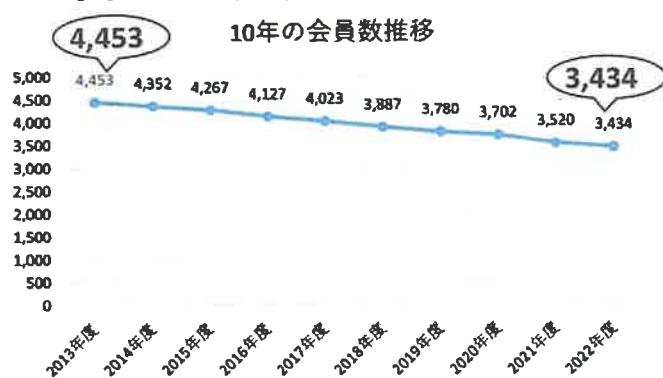
D

D 分科会

会員数の推移

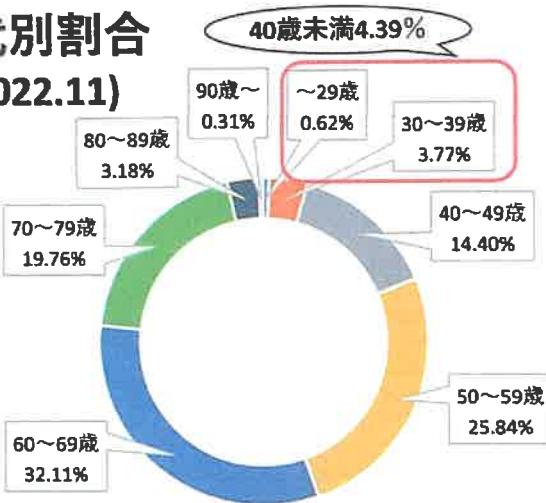


10年間の会員数推移



年代別割合

(2022.11)



ファミリー会員関連の約款改訂

- 第9条 会員は、本会の行う事業及び各支部が行う事業に参加することができる。この事業は、会誌「愛知の建築」に掲載することにより広報する。なお、事業に参加する場合の経費の負担等は、それぞれの事業の定めによる。
- 第10条 会員は、会誌「愛知の建築」に投稿することができる。
- 第11条 会員が本会の行う講演会、講習会、見学会、その他これに準ずる事業に参加し、又は図書を購入する場合については、定款に定める会員と同等の会員とみなし、優遇措置を講ずる。
- 第12条 会員が定款に定める会員になる場合において、定款細則に定める入会金についての優遇措置については理事会の承認により講ずることができることとする。
- 第13条 この規則による会員には、建築士会が定める定款第12条1項(4)は適用しない。
- 第14条 この規則の施行について必要な事項は、理事会の承認を経て別に定める。
- 第15条 この規則の設定、変更及び廃止は理事会の決議により行い、総会の議決を要する事項については総会の承認を得るものとする。
- 第16条 この規則の会員が正会員(終身正会員は除く)と同居する親族でなくなった場合、正会員(終身正会員は除く)が所属する会社・事務所に属する建築士が40歳を迎えた場合、または、所属する会社・事務所に正会員(終身正会員は除く)が不在となった場合には、当該会員の申し出により、速やかに正会員への変更の手続をとり、正会員となるものとし、当該年度の次の年度から、正会員の会費を支払うものとする。

附則

(施行期日)

この規則は、理事会において議決された日より施行する。

令和3年5月14日 理事会制定

令和5年6月15日 理事会改定

とができる。この事業は、会誌「愛知の建築」に掲載することにより公報する。なお、事業に参加する場合の経費の負担等は、それぞれの事業の定めによる。

第10条 会員は、会誌「愛知の建築」に投稿することができる。

第11条 会員が本会の行う講演会、講習会、見学会、その他これに準ずる事業に参加し、又は図書を購入する場合については、定款に定める会員と同等の会員とみなし、優遇措置を講ずる。

第12条 会員が定款に定める会員になる場合において、定款細則に定める入会金についての優遇措置については理事会の承認により講ずることができることとする。

第13条 この規則が施行された日以前の正会員は、ファミリー会員へ変更は認めないものとする。

第14条 この規則による会員には、建築士会が定める定款第12条1項(4)は適用しない。

第15条 この規則の施行について必要な事項は、理事会の承認を経て別に定める。

第16条 この規則の設定、変更及び廃止は理事会の決議により行い、総会の議決を要する事項については総会の承認を得るものとする。

附則

(施行期日)

この規則は、理事会において議決された日より施行する。

令和3年5月14日 理事会制定

学生・教員との交流企画

アートで街おこしをする佐久島訪問



学生部会発足企画（オリエンテーション・企画立案ワークショップ）



学生コンペ：地元大学教員10名で一次審査



資料6

令和5年度支部別会費等(金額は支部・本部費の合計)一覧(現在)
金和6年2月1日現在)

＜ 令和 5 年度 支部別会費等(金額は支部・本部費の合計)一覧(令和 6 年 2 月 1 日 現在) ＞							
ブロック	支部名	管轄市町村	会費年額(円)	納入月	会費の納入方法		備考
県北ブロック	北茨城	北茨城市	20,000	5月	口座振込み	年2回	総会の月に持参する。準会員は年12,000円 文部総会資料配布時に、請求書・案内書を同封。 家族会員は年額15,000円 会費は銀行振込込み
	久慈	常陸太田市、大子町	20,000	6月	郵便払込、口座引落、口座振込	年1回	半年分(10,800円)ずつ請求書を出す (郵便振替え)、(銀行振込) 会費は口座引落し又は口座振込み。準会員は年額2万円 原則として口座引落し(前月)または、 振込み(一括)
	高萩	高萩市	20,000		口座振込み	年2回	10年度から口座引落し(銀行間のアイ・ネット利用)5割以上 任意で地区(日本分会)に所属することができる (支部会費とは別途の会費必要) 毎年みどりの日の総会で集め(5割)、他は支部の理事 事が集金や、支部の口座振込み、口座振込み 総会出席者は、現金、他は支部の口座振込み
	日立	日立市	21,600		郵便振込、銀行振込	年2回	
	ひたちなか	ひたちなか市、常陸大宮市、 東海村、那珂市、	24,000	6月	口座引落とし	年1回	
	県庁	県職員、OB	15,600	毎月	口座引落とし振込み、持参	毎月 or 年1回	
県央ブロック	県央	水戸市、茨城町、笠間市、 大洗町、城里町	24,000		口座引落、郵便振込、市役所へ持参	年1~2回	割以上
	鹿島	鹿嶋市、神栖市	22,000	6月	原則として、振込み	年1回	任意で地区(日本分会)に所属することができる (支部会費とは別途の会費必要) 毎年みどりの日の総会で集め(5割)、他は支部の理 事が集金や、支部の口座振込み、口座振込み 総会出席者は、現金、他は支部の口座振込み
	行方	潮来市、行方市	18,000	4月29日	口座振込	年1回	
	鉢田	鉢田市	20,000	5~6月	集金及び銀行振込み	年1回	
	古河さしま	古河市、五霞町、境町	24,000	6月末	振込み・郵送・持参	原則年1回・2分割も可	引落手数料の値上げにより、振込・郵送・持参に変更
	桜川	桜川市	20,000	6月	口座振り込み・集金	年1回	
県西ブロック	下妻	下妻市、八千代町	20,000	6月	口座引落とし	年1回	総会終了後、総会資料と共に口座引落しの案内を郵 送
	常総	常総市	24,000	年2回	口座振込み	年2回	上半期と、下半期ごとに請求書を郵送
	筑西	筑西市	18,000	6月	郵便振込	年1回	支部総会後、請求書同封する
	坂東	坂東市	24,000	4,10月	口座引落とし集金	年2回	口座引落しが6割、他は地区役員10数名で集金
	結城	結城市、八千代町	20,000	5,10月	口座振込と集金	年2回	
	石岡	石岡市、小美玉市	20,000	5月	銀行振り込み	年1回	
県南ブロック	稻敷	稻敷市、美浦村	20,000	6月	口座振込か持参	年1回	アボリー会員(会員の勤務先に従事する者)は、 会費12,000円
	北相馬	取手市、守谷市、利根町	22,000	6月	銀行振込み	年1回	総会費・研修会費を含む
	筑波	つくば市、つくばみらい市	29,000	5, 10月	集金・口座引落し	年2回	
	土浦	土浦市、かすみがうら市、阿見町	26,400	4,7,10,11月	山座引落とし	年4回	
	龍ヶ崎	龍ヶ崎市、牛久市、河内町	24,000	5月	口座振込と、口座引落し	原則年1回	親子会員の場合は入会金2,000円、 会費18,000円